



大煌工業株式会社
極東開発工業株式会社
大林道路株式会社

2019年3月25日

計量装置を搭載し積載重量を表示！定積載での安全運行をサポート！ 「スケールダンプ」を開発

大煌工業株式会社（代表取締役：山下将弘 以下、大煌工業）、極東開発工業株式会社（代表取締役社長：高橋和也 以下、極東開発）、大林道路株式会社（代表取締役社長：福本勝司 以下、大林道路）はこのたび、ダンプトラックのボデーに計量装置を搭載して積載重量を表示することを可能とした「スケールダンプ」を開発し、トライアル運行を行います。

近年、安全指向やコンプライアンス重視の観点から過積載防止の活動や取締りがより一層強化される傾向にあります。

今回の新製品は、ダンプトラックのボデー前後に三点（前側に一点、後側に二点）のロードセル（計量装置）を搭載し積載物の重量表示を可能としたもので、過積載の防止を図り、車両の定積載での安全運行をサポートします。

今後はトライアル運行を通じて製品のブラッシュアップを行い、2019年夏頃の市場投入を目指します。

大煌工業・極東開発・大林道路の各社グループでは、社会インフラを支えるべく、今後も安全と信頼をキーワードとした事業活動と製品開発を積極的に進めてまいります。



「スケールダンプ」(プロトタイプ)

「スケールダンプ」の特徴

1. 三点のロードセルで積載物の重量を計測

ボデー下の前側に一点、後側に二点の計三点に搭載したロードセル（計量装置）で積載物の重量を計測することが可能です。（前側のロードセルは専用シリンダ部に搭載されており、計測時にはシリンダを伸ばして測定を行います。）

2. 積載物の重量が一目でわかり、確実な作業をサポート

ロードセルで計測された積載物の重量はボデー上の外部表示計とキャブ内表示計（1DIN）にデジタル表示されます。ドライバーの方にも積込作業をされる方にも一目でわかりやすく、確実な定積載作業をサポートします。



3. 低速走行時でも計測が可能

ロードカッターによる積み込み作業等の低速走行時(5~8km/h)でも計測を可能としています。(※ただし、高精度での計測は停車状態による測定が必要となります。)

4. 既存車両にも装着可能

「スケールダンプ」は、新車のほか、既存の車両にも後付けを可能としています。

(※仕様や年式、また車両の状態によっては装着ができない場合がございます。また、装着可能でも、減トンとなり構造変更等が必要になる場合もございます。)

5. 環境負荷の低減にも寄与

積載量を目視することで、定積載を守りながらも車両の積載能力を最大限有効に活用することができ、安全かつ効率的なオペレーションを実現します。

そのため、車両毎の稼働率を向上させ余剰な運行台数を削減できるほか、過積載に起因する道路の損傷が少なくなり、また通常外の車両劣化も防げるため、環境負荷の低減に大きく寄与します。

6. 販売目標台数(予定) 300台 (年間)

《ご留意事項》

- (1) 「スケールダンプ」は従来の自重計より高精度な過積載防止管理を可能としています。
計量精度の確認のため、1回/年の自主検定を推奨いたします。
- (2) 当資料に掲載の写真はプロトタイプのもので、
2019年夏頃に正式発売される予定の車両と一部異なる場合がございます。

<広報お問合せ先>

大煌工業株式会社 広報課

〒332-0034 埼玉県川口市並木4-15-6
電話 (048) 299-7853 F A X (048) 299-7852
ホームページアドレス <http://www.taiyouhd.co.jp/>

極東開発工業株式会社 総務部 総務課

〒663-8545 兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号
電話 (0798) 66-1000 F A X (0798) 66-8156
ホームページアドレス <http://www.kyokuto.com/>

大林道路株式会社 本店 総務部 広報課

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-8-8
電話 (03) 3295-8861 F A X (03) 3295-8392
ホームページアドレス <https://www.obayashi-road.co.jp/>